資料２

Ｈ29年度地方創生交付金採択事業報告

・うきは市ルネッサンス戦略（総合戦略）の方向性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １ｐ
・平成29年度地方創生事業の主な取組み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２ｐ
・平成29年度地方創生推進交付金採択事業報告及び決算額 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３ｐ
・平成29年度地方創生拠点整備交付金採択事業報告及び決算額 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ７ｐ
・平成29年度地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）採択事業報告及び決算額 ・ ８ｐ

うきは市ルネッサンス戦略（総合戦略）の方向性

基本理念	Ⅰコミュニティの創造的再生 Ⅱ産業の創造的再生 Ⅲ地域の創造的再生	基本方針 とKPI	基本方針①：うきはの資源活用と新たな雇用の創出 数値目標：高校卒業世代（15歳～19歳の年齢階層）における市外への流出率を、現状の17.4%から2019年には15.4%へ低下させる。 基本方針②：地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み 数値目標：うきは市へのIターン者を、現状の年間30人から2019年には50人に増加させる。 基本方針③：結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市 数値目標：うきは市の出生率を、現在の1.53から2019年には1.63まで上昇させる。 基本方針④：時代にあったうきはの地域づくりと広域的な地域間連携 数値目標：現在年間15件（内人的交流を伴うもの：7件）実施されている広域的連携事業（単なる会議等は除く）を、2019年までにスクラップ・アンド・ビルドを含め、全体として20件（内人的交流を伴うもの：10件）に拡大する。

基本方針	プロジェクト
① うきはの資源活用と新たな雇用の創出	1. 藤波ダム周辺地域産楽連携空間形成プロジェクト 2. うきはブランド形成プロジェクト 3. 温泉・健康ツーリズムプロジェクト 4. 地域資源を宝にするのだ！わたしの起業プロジェクト 5. うきはの“しごと”拡大プロジェクト 6. うきはの“農業・林業”拡大プロジェクト 7. 地理的環境分析に基づく農業等の戦略的ブランド化プロジェクト
② 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み	1. ジョブマッチング空き家対策プロジェクト 2. 災害に強い安全安心なまちづくりプロジェクト 3. 輝け地域の宝にぎわい創出プロジェクト 4. 2020年日本書紀1300年をターゲットとしたうきはの歴史資源活用型「時空のネットワーク」形成プロジェクト
③ 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市	1. 子は地域の宝プロジェクト 2. うきはっ子夢・学力向上プロジェクト 3. 市民総出の健康増進プロジェクト 4. 健康うきはプレミアムエイジプロジェクト 5. 重点道の駅整備プロジェクト
④ 時代にあったうきはの地域づくりと広域的な地域間連携	1. 個性ある地域・人づくりプロジェクト 2. 福岡トライアングル都市圏形成プロジェクト 3. 耳納北麓連携プロジェクト 4. 生葉の未来創造プロジェクト 5. 筑後川上中流域ネットワークプロジェクト 6. 超広域市町村ネットワーク強化プロジェクト

寺子屋事業 3p

うきはっ子の豊かな心育成事業 3p

国際連携・文化資本創出事業 3p

女性活躍人材育成事業 3p

うきはテロワールプロモーション事業 4p

農業マーケティング塾 4p

高付加価値農業推進事業 4p

東京アンテナショップを核とした情報発信事業 5p

創業支援関連事業 5p

木育支援事業 6p

うきは地域総合商社施設整備事業 7p

調音の滝公園施設改築事業 7p

平成29年度地方創生推進交付金採択事業報告及び決算額

採択事業名	事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 千円	事業成果
			基本方針	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ			
1.うきはの地域資源を活かした文化資本の形成を基盤とする、新たな教育・学習環境の整備による地方創生人材の育成	**寺子屋事業**	小学生をターゲットに、久留米大学の学生、教員との連携の元、自ら学ぶ意欲の向上を図る	③-	2.	生涯学習課	613	5/27～3/3、土曜日年25回実施、傷害保険料200円・検定料実費 児童131名申込、延べ1,898名参加。支援員延べ362名（うち久留米大学生48名、究真館高生徒75名）協力 漢字検定2回（10/28、1/27、延べ38名受験）、算数検定2回（11/11、2/17、延べ33名受験）実施 補充学習のほかに、サイエンスショーやボランティアによる読み聞かせを各1回実施 アンケートより、「勉強が楽しくなってきた（児童）」「学習意欲の向上、学習の習慣化が身についてきた（保護者）」といった意見があった。
	うきはっ子の豊かな心育成事業	未就学児にリトミック教育など人間の感性を活かす教育の場の提供する。また、小学生を対象に他地域との交流連携を通じ、自らの住む地域の特性について認識の形成を図る	③-	2.	福祉事務所/生涯学習課	1,240	（保育所係） ・市内10の保育園・幼稚園でリトミック教育の研修会を実施。指導方法等について学び、保育士の資質向上につながった。児童の集中力がつき、人の話を聴く力や表現力、想像力の向上がみられた。 （社会教育係） 子ども未来学部（体験学習） ・鷹取登山　6/3～4実施。郷土うきはの農業・特産物、文化財・古墳、イベント・祭りについて学習し、壱岐市での発表とこども議会に向けての準備を行った。生涯学習センターに宿泊し、翌日、鷹取登山を実施した。 ・壱岐島自然体験　台風接近により中止 ・子ども議会　壱岐島自然体験中止により中止
	多面的学習機会の提供	中学生、高校生をターゲットに、学校以外の地域社会と連携した学びの機会、および自らが社会参画する機会を持つことにより、地域への帰属意識を高める	③-	2.	学校教育課	5,475	・適応指導教室において学習等の様々な活動を行い、不登校やその兆候が見られる生徒において着実に学校復帰への傾向がみられた。 ・部活動外部指導者を配置したことにより、教職員への負担が軽減するだけでなく、生徒においては質の高い指導を受けることができ、技術等の向上がみられた。
	国際連携・文化資本創出事業（アーティスト・イン・レジデンス）	子どもや子育て世代をターゲットに、アーティストを世界から呼び込み、触れ合いや市内の文化的資源の対外的な発信を通じた文化資本の形成を育む	③-	2.	うきはブランド推進課	7,855	アーティスト3組の受け入れやオランダトップセールス等を実施し、オランダ等との交流を通じた国際連携・文化資本の形成・推進に努めた。①4月～6月　モンドリアン財団受入委託、②4月～6月　レジデンス事業プロモーション動画等制作、③8月～9月　ウェブサイト制作委託　、④9月～10月　オランダトップセールス委託、⑤9月～10月　アーティスト受入(ピアノ演奏）、⑥12月～3月　アーティスト受入(保育所等演劇）、⑦2月～3月　アーティスト受入(歴史資源等活用)
	女性活躍人材育成事業	女性をターゲットに、地域の文化資本を活用し、「小さな起業」等を通じて自らが積極的に社会参画していくとともに、積極的に子育てに対応していくための環境を整備する	①-	5.	男女共同参画推進室	929	全12講座(食品加工、食品表示、商品の仕上げ・デザイン、商品の流通、HP作成方法等)を開催。起業したいという思いがあっても、仕事や家庭との両立への不安や知識不足等の理由で二の足を踏む女性が多いため、地域の中で自分の仕事づくりを目指すノウハウを学ぶ場として起業家が生まれる前段階から支援する仕掛けづくりを行った。
	まちごとクラウドソーシング	地域の多様な人材をデータベース化し積極的に活用することで地域自らが内発的に人材を育成する仕組みを作る	③-	4.	うきはブランド推進課/生涯学習課	602 （補助対象分0）	（地域振興係） 九州大学、民間事業者等で構成する浮羽まるごと博物館協議会で円形劇場に関した「うきはの栞」を作成した。棚田まなび隊の取り組みでは、年間14回の棚田の米づくりや畑づくり活動を行い、MUJIキャナルシティ博多での活動報告やイベントへの導入を実施した。棚田米を活用した日本酒の開発を地元酒造メーカーのいそのさわと調整を行った。 （社会教育係） 市民大学・人材バンクコーディネーターに元小学校長を雇用し、主に「いきいき・地方創生」学部を担当。市民の健康と生きがいづくり、高齢者学習の充実と郷土愛や福祉の心、ボランティア精神の育成を担った。 ・いきいき学部：361名…市民が健康で生きがいをもって暮らすことができるよう、高齢者学習の充実と社会参加活動の促進を図り、高齢者が「創り」、「教え」、「学び」、「活かす」ための活動拠点をつくるもので、いきいき教室（11回）及び課外活動（8講座）を開催した。 ・地方創生学部：111名…市民が自ら学習に取り組み、郷土愛や福祉の心、ボランティア精神を育むことで、うきはの地域社会を担う人材を育成するもので、主催講座（2講座）・自主運営講座（5講座）を開催した。（人材バンク登録者数：92名、ボランティア活動件数：延べ73件）
	うきは市民大学事業	すべての市民をターゲットに、自ら学び一人ひとりが持つ特性や能力を活かして地域に還元していく人材づくりを進める	③-	4.	生涯学習課	509	・4/26開講。子ども未来・いきいき・一般教養・地方創生・男女共同参画の5学部を展開し、人材の育成を図った。受講生数：子ども未来寺子屋 131名、米粉パン作り 30組85名、親子陶芸 44組103名、体験学習 60名、いきいき 361名、一般教養 571名、地方創生 111名、男女共同参画278名、計 1,700名　3/4閉講（学習発表会開催。約300名参加） ・親子米粉パン作り　7/25～26計2回、にじの耳納の里にて実施、1組500円 ・親子陶芸　7/29～30午前午後の計4回、うきは市土の詩を講師に実施
						16,621	

平成29年度地方創生推進交付金採択事業報告及び決算額

採択事業名	事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 千円	事業成果
			基本方針	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ			
２．ブランディングによる農林水産業の基幹産業化	**農的空間整備事業**	文化財を農村資源として活用するためのガイダンス拠点等の整備による農的空間の整備	②－	4.	生涯学習課	9,072	・地元説明会を3回開催し、近隣住民の意見も参考にしながら、地域の生業と共に歩んできた屋形古墳群を周遊するための中心地となるガイダンス拠点（広場）及び施設の実施設計を行った。
	農的水循環環境調査	うきは市の農業環境の優位性を分析するため、地下水等の農的水環境の調査を実施する	①－	7.	水資源対策室	18,695	・うきはテロワールを深化させるため、農業環境に重要な地下水循環システムの調査、保全を行った。 ・地下水位観測井戸設置2カ所、現場透水試験2カ所、一斉測水調査72カ所×2回（夏季・冬季）、連続観測調査（井戸5カ所選定6～7月間観測）、水質検査(河川9カ所、地下水22カ所)、水質調査20か所を実施。 ・解析業務では、地下水利用実態調査、概略水収支検討、地下水流動モデルの構築に取り組んだ。
	うきはテロワールプロモーション事業	うきはテロワールプロモーションを通じた農林水産物の新たなプロモーションモデル開拓	①－	7.	うきはブランド推進課	17,492	・「うきはテロワール」ロゴを図案化して、ロゴを使用したツール（手提げ袋、ピンバッジ）を製作し展開。 ・「うきはテロワール」周知するためのホームページを開設し、SNS「インスタグラム」と連携を図った。https://ukiha-terroir.jp/ ・雑誌「料理通信」へのうきは産食材（うきはテロワール）の特集記事の掲載やその食材を使用した有名シェフとの食事会形式のイベント等を実施した。
	農業マーケティング塾	新規就業者の確保・定着を促進するとともに、規模拡大や人材育成等を通じ、担い手の経営力の強化を促進する	①－ ①－	6. 7.	農林振興課	7,500	・㈱うきはレインボーファームにおいて新規就農をめざす研修生の育成を行った。研修生3名の内、1名は研修を終了して9月より独立就農を開始した。残り2名はH30年秋の就農を目標に研修を継続している。 ・中山間地の農業振興、担い手確保を図るため、振興作物の実証を行う農地1.4haの栽培を始めた。また、有害動物の被害を防止し、安定した収量を確保するため、防止柵を設置しその効果を検証している。設置後は被害もなく、安定した収量を確保している。継続して被害状況を調査。
	高付加価値農業推進事業	うきはテロワールに基づく新規商品の開発等による高付加価値農業の推進	①－	5.	うきはブランド推進課	1,029	・うきは産のぶどう(BKシードレス)を使ったフルーツビール(1,300本)を試作。市内外のイベントや農業団体、市内飲食店等でPRイベントを開催し、モニタリングを行った。
						53,788	

平成29年度地方創生推進交付金採択事業報告及び決算額

採択事業名	事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 千円	事業成果
			基本方針	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ			
３．地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト	**東京アンテナショップを核とした情報発信事業**	情報ツールの活用を含めて大都市圏や東南アジアの消費者に向けて情報を発信し、誘客をつなげる	①-	2.	うきはブランド推進課	12,431	・H29年7月にオープンした東京アンテナショップに関する市内事業者・商品等の推進を図った。また東京ASでのフルーツ等PRイベント(計8回)を開催し、市と特産品のPRに努めた。
	東京アンテナショップを活用したうきは地域活性化事業	観光客や移住者の増加による市内の雇用への流れや所得向上を目指して「しごと」と「ひと」の好循環サイクルの確立につなぐ	①- ①- ③-	2. 5. 5.	うきはブランド推進課	45,541	（ブランド戦略係） ・「外貨を稼ぐ地域づくり」、創業支援による「仕事づくり」プロジェクトを目的とした地域総合商社の拠点を整備した。あわせて、エフコープなどとの連携を通じて市内特産品の販路拡大を行った。今後、市内を周遊する旅行商品の企画販売やプロモーション及びレンタサイクルの貸し出し等を行っていく。 ・７月～３月 地域総合商社観光・外販等支援事業委託料 ・８月～３月　道の駅うきは設計管理委託 ・１１月～３月　道の駅うきはデッキ改修等整備工事 ・８月～３月 東京AS集配システム、ブランディング委託 （企業立地係） ・三春工業団地に係る企業誘致用パンフレットを1000部作成した。東京アンテナショップ等でパンフレットを配布して誘致活動に努めた。 （商工振興係） ・創業支援関連事業：創業スタートアップセミナーを8月19日、8月20日、8月26日(合計16時間)実施。定員10名に8名申込、6名に修了証を交付。 ・創業支援ポータルサイト管理：創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の管理を滞り無く行った。 ・創業支援用広報素材作成：ポータルサイトに掲載する創業者へのインタビュー記事・地域産業資源紹介ページ等を制作及び掲載。 ・デザイナーマッチング事業：市内に在住するデザイナー等クリエイターの情報を収集し、ポータルサイトにクリエイター紹介ページを作成し情報を掲載。商工会等外部機関と情報を共有した。 ・創業支援補助金：H29年度に創業した創業者4名に対し創業者奨励金を交付。
	観光総合プロモーション事業	観光総合プロモーションを核とした情報発信事業（フルーツ観光の推進、ブランドの情報発信、インバウンド型観光の発掘等）	③-	5.	うきはブランド推進課	28,932	・観光振興として、地域資源を活用した「うきは型観光」を推進し、国内外へのPR活動、観光情報の発信、受け入れ態勢強化、広域観光の推進など団体旅行・個人旅行の両輪で積極的な観光プロモーションに努めた。 （観光協会関連） ・４月～３月　総合観光プロモーション事業委託 ・４月～３月　うきは市地域資源等PRポスター制作 ・８月～３月　観光PRツール制作業務 ・１１月～３月　市内小学校(吉井・御幸)による観光ICT教育
						86,904	

平成29年度地方創生推進交付金採択事業報告及び決算額

採択事業名	事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 千円	事業成果
			基本方針	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ			
４．筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立的産業クラスターの形成	**林業振興事業**	林業の生産性向上を図り、新規就業者の発掘を行う	①-	6.	農林振興課/企画財政課	4,298	・森林資源活用システム構築事業：航空レーザ計測データ解析による森林資源量の調査を実施。このデータを森林組合と連携して素材生産等生産性の向上に活用していく。
	木材関連産業活性化事業	うきは市の地場産業である製材業を中心とした木材関連産業において、CLT等、新技術の導入や新商品開発を含め、経営革新を行うことで、付加価値生産額を高め、新たな雇用の創出を図る	①-	6.	農林振興課/企画財政課	6,349	・森林資源流通実態調査：素材及び製材加工品の流通状況を調査。素材供給量を少ないとする製材業者もあり、今後、人材の確保を含め、素材生産を向上させる取組みが必要。 ・木材関連産業活性化アクションプラン策定事業：上記のことも含めて、うきは市における林業・木材産業の活性化に向けたビジョンを策定した。今後このビジョンの具体化を推進していく。 ・木質資源活用商品開発：木製オブジェ制作に係るデザイン料を助成。今後、うきは材のブランド化を推進していくため、建築材のみならず木製品の活用を図り、林業等への認知度を高める取組みを推進していく。
	木育支援事業	木材関連産業の中でクラフト製品の企画開発力を高め、付加価値の高いものづくり体制の整備を図り、木製品に市民とりわけ子ども達が親しむことができる空間整備を行う	③-	1.	福祉事務所	1,994	・うきは市図書館3階のぬくもり広場に「木のぬくもりコーナー」を設けて、地域材を使用した玩具を導入した。幼少期から生活の中で地産材に触れ育ち、木の香りや手に触れた感触から木の良さを知ってもらい、ふるさと「うきは」の良さを感じて育ってもらうために開設。ぬくもりコーナーで遊ぶ子どもの笑顔で子育て中の父母に癒し効果も見られている。 ・導入した玩具は、アスレチック風木製(杉)玩具(耳納連山・木のボールダム)、木製マグネットボード、筑後川、筑後川水系の杉で作った積み木、ぞうさんのバームクーヘンなど。
	木質バイオマス推進事業	間伐材、除伐材の有効活用を図り、地域内の経済、エネルギー循環を高めるための方策のひとつとして、木質バイオマスエネルギーの活用について事業化を図る	①-	6.	企画財政課	3,888	・市内事業者の協力を得て薪ストーブ導入によるCo_2排出量削減効果を測定するとともに、木質バイオマス導入可能性調査を実施。バイオマスエネルギー普及に向けた取り組みとして事業所による薪ストーブの熱利用調査と、市内の竹や剪定枝を含めた木材供給に関する現状把握や課題を整理した。今後、薪の生産体制推進に向けた取り組みを進めるため森林組合を支援するとともに、関係者による検討会議等を開催し、引き続き燃料材の安定供給に向けた課題解決に取り組む。
	森林空間活用ビジネス創造事業	森林空間を癒しの場、健康増進の場としてより一層活用することにより、森林セラピー事業を核に新たなビジネスの集積を高め、山間部の雇用創出に結びつける	③-	3.	うきはブランド推進課	8,239	・企業向けプログラムを作成するために、事業者と地域住民や癒しの旅先案内人(森林セラピーガイド)等と2回にわたるワークショップを実施した。そこで出てきた森林セラピーを体験して欲しい客体に向けたプログラムの提案書を作成し、モニターツアーを実施した。モニターツアーのアンケートを元にして企業向け告知チラシを1000社送付した。 ・森林セラピーコース上のアスファルトにカラー舗装と滑り止め加工を実施した。安全かつ景観を損なわない森林セラピーの散歩道を整備した。
	森林・温泉連携による健康産業創出	健康、癒しといったキーワードで森林空間・森林資源と結びつけることができる市内の温泉資源を活かし、新たな健康産業の創出を図り、温泉自体の魅力の創出と、新たな雇用の創出を図る	①-	3.	うきはブランド推進課	45,899	・森林・温泉連携による健康産業創出に向けた温泉の泉質調査等成分分析を行うとともに、宿泊観光客等へ森林セラピーなどのプラグラムを盛り込んだモニタリング調査を行った。また、フットパス等温泉周辺を周遊するための街路灯の整備を行った。 ・８月～３月　源泉ブランド形成事業 ・８月～３月　森林・温泉活用健康プログラム開発事業 ・８月～３月　森林・温泉・健康プロモーション事業 ・１１月～３月　街路灯設計委託 ・１１月～３月　温泉地域環境整備事業
						70,667	

平成29年度地方創生拠点整備交付金採択事業報告及び決算額

採択事業名	事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 千円	事業成果
			基本方針	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ			
1.「うきは地域総合商社設立による“外貨を稼ぐ地域づくり”及び創業支援による“仕事づくり”プロジェクト」拠点整備事業	**うきは地域総合商社施設整備事業**	フルーツや加工品類の他、旅行商品の企画・開発・販売を行う地域総合商社の事務所兼着地型観光の拠点（インフォメーションセンター）を整備する	①- ②-	2. 3.	うきはブランド推進課	51,743 （補助対象分 51,147）	･道の駅うきは内の旧家宝館をうきは地域総合商社として、外販・ギフト販売・ネット通販・DMO事業（観光地域づくりの舵取り役を担う法人）などを行うための拠点「ウキハコ」整備を行った。ウキハコでは、イベントスペースを活用した事業者等のPRイベント、来館者の交流・休憩、情報発信、レンタル自転車貸出しなどを行う。 ・5月～3月　施設活用支援委託 ・5月～3月　商社整備設計監理委託 ・5月～3月　総合商社整備工事 ・2月～3月　テーブル、レンタル自転車等備品購入
2. 山村空間を活かした体感型観光拠点整備事業	**調音の滝公園施設改築事業**	調音の滝公園交流施設の大規模改修による機能アップを行い、都市住民の満足度を上げ、利用率を大幅に改善するとともに山間部の雇用の場を確保する	①- ④-	2. 4.	住環境建設課	46,596 （補助対象分 42,017）	・老朽化した調音の滝公園のそうめん流し場を解体して、座席数を2.8倍にした木造2階建のそうめん流し場を建設した。併せて既存建物の厨房を改修し機能向上を行った。（平成30年3月29日完成） ・今後、夏のオープンに向けて運営する地元団体と準備を進める。
3. 観光による生産性を高めるための「うきはツーリズム・ステーション」整備事業	**観光会館土蔵施設整備事業**	吉井観光会館土蔵（くら）を「ツーリズム・ステーション」として機能整備し、観光総合プロモーション事業の拠点とする	①- ②-	2. 4.	うきはブランド推進課	28,303	･観光施設「吉井観光会館土蔵」の機能強化を図り、観光による生産性を高めるため「うきはツーリズム・ステーション」整備を行った。館内のイベントスペースや屋外に隣接するイベントスペースを活用した市内事業者のPR活動や物販・体験等の活用に資するもの。 ・6月～1月　設計監理委託 ・10月～1月　観光会館「土蔵」整備工事 ・2月～3月　プロジェクター等備品購入
4. 文化的建築物の活用による新ビジネス創出事業	**歴史的資源関連施設整備事業（鏡田屋敷）**	文化的建築物である鏡田屋敷を文化財としての価値を損なわず、機能アップして活用するための改修を行う	①- ②- ④-	2. 4. 1.	生涯学習課	12,074	・関係機関と協議を行い、文化的建築物である鏡田屋敷の和室を一部改修し、脱衣所を設えた浴室を整備した。また、土蔵の大カマドを記録保存の上、厨房施設を新設して、滞在可能な施設整備を行った。
	歴史的資源関連施設整備事業（居蔵の館）	文化的建築物である居蔵の館を文化財としての価値を損なわず、機能アップして活用するための改修を行う	①- ②- ④-	2. 4. 1.	生涯学習課	11,457 （補助対象分 11,421）	・関係機関と協議を行い、居蔵の館について既存の五右衛門風呂、カマド、トイレを使えるものに改修した。また、物置としての利用にとどまっていた土蔵を整理して厨房施設を新設し、滞在可能な施設整備を行った。
7. うきはアリーナを活かしたスポーツツーリズム推進事業	**総合体育館改修事業**	総合体育館うきはアリーナの集客を高めるため、屋根の遮熱塗膜工事による機能拡充を図り、スポーツツーリズム拠点として各種スポーツ大会や合宿等の誘致を進める	①-	3.	生涯学習課	78,924	･夏期の施設環境を改善するため、うきはアリーナの屋根に遮熱材の塗装工事を行い、施設の機能拡充を図って施設の価値を高めた。今後、うきはアリーナを稼ぐ施設にすべく合宿誘致等に取り組み、指定管理者の実施する企画事業を推奨して利用者増を図っていく。
						223,886	

平成29年度地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）採択事業報告及び決算額

採択事業名	事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 千円	事業成果
			基本方針	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ			
1．地域コミュニティ活性化支援事業	**地域コミュニティ支援事業**	協働のまちづくりを推進するため、うきは市内11の地区自治協議会の運営に対して、支援交付金により財政支援を行う	②− ②− ③− ④−	2． 3． 4． 1．	市民協働推進課	24,115	毎月1回、各地区自治協議会事務局が集まり、運営や問題点等を意見交換。その中で「地域計画」で挙げられた課題の解決へ勉強会を開催し、事業計画で位置付ける移住定住の基盤となる自治協議会活動での対応策を協議した（6月・10月：行政区未加入、8月：防災組織、1月：地域交通）。コミュニティビジネスとしても注目される住民型有償サービスが7月に大石地区で発足。
						24,115	